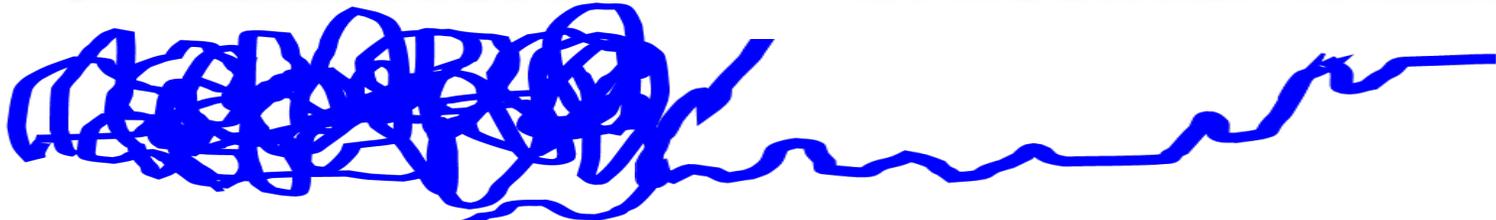
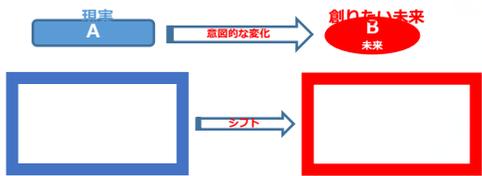
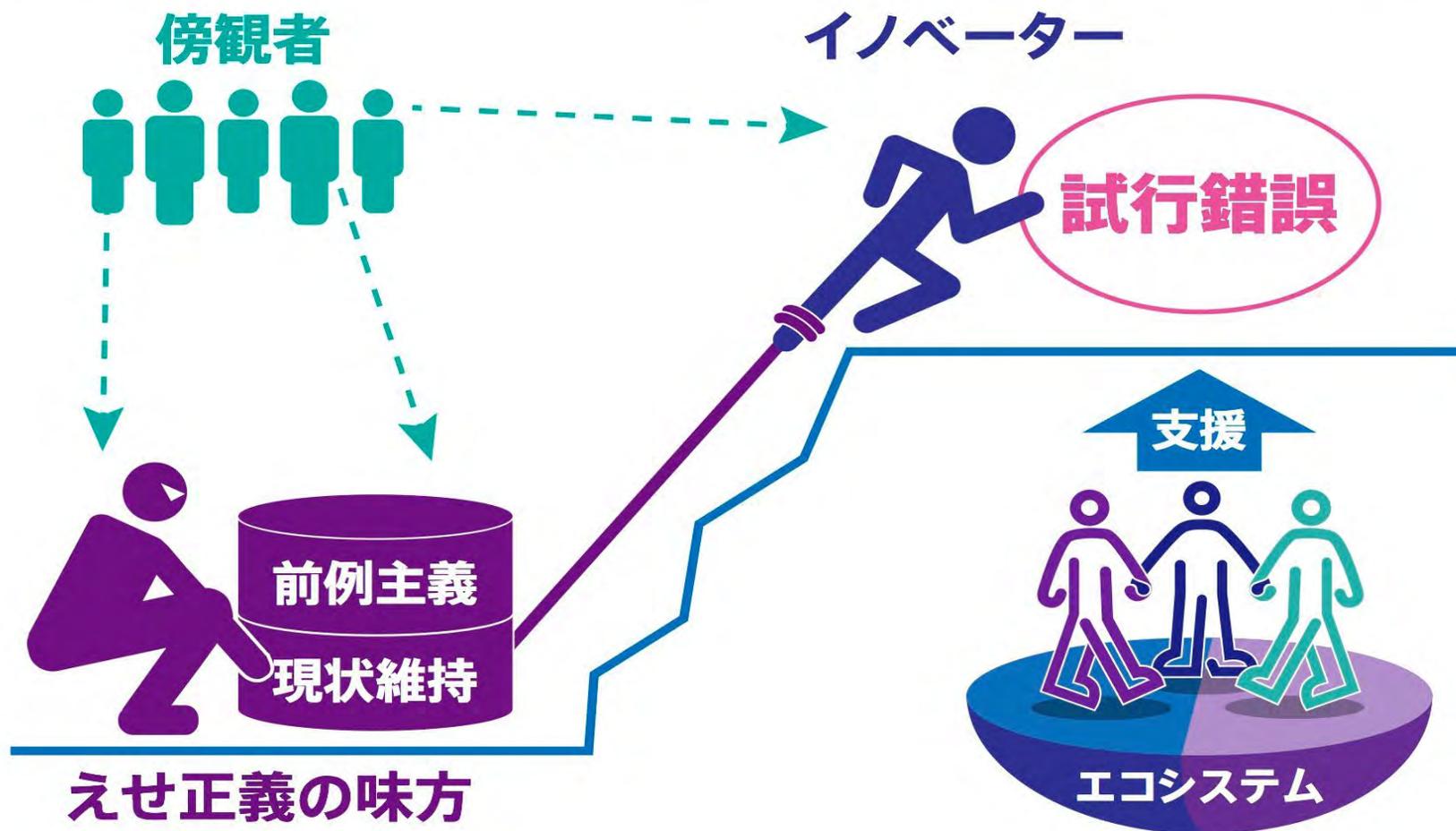


構想力強化 = シフト軸に試行錯誤



イノベーション = 試行錯誤をするという仕事
試行錯誤を止める = イノベーションを殺す

組織内の「えせ正義の味方」の存在を前提としたエコシステム構築が必要

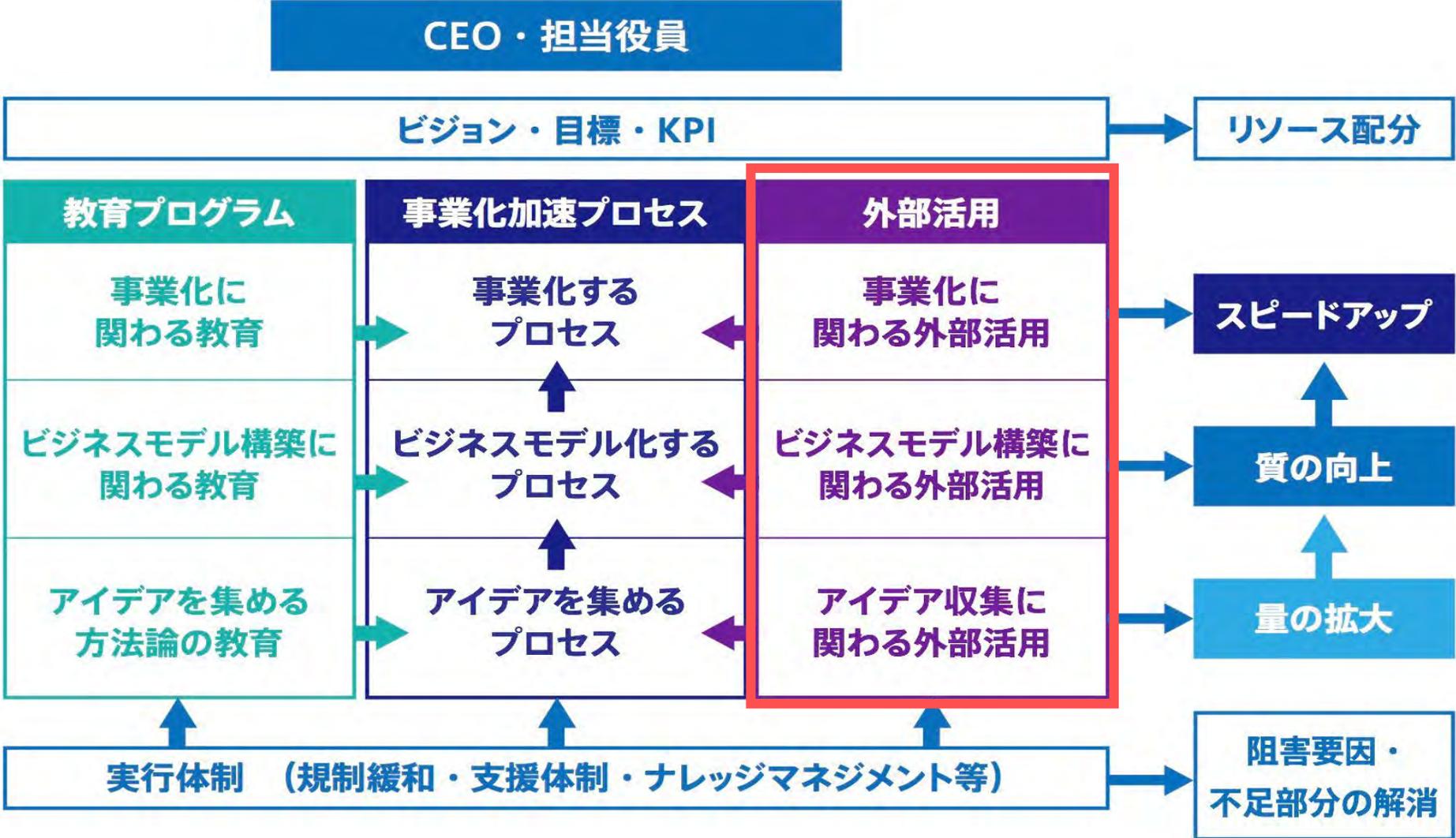


組織が身につけるべき力は？

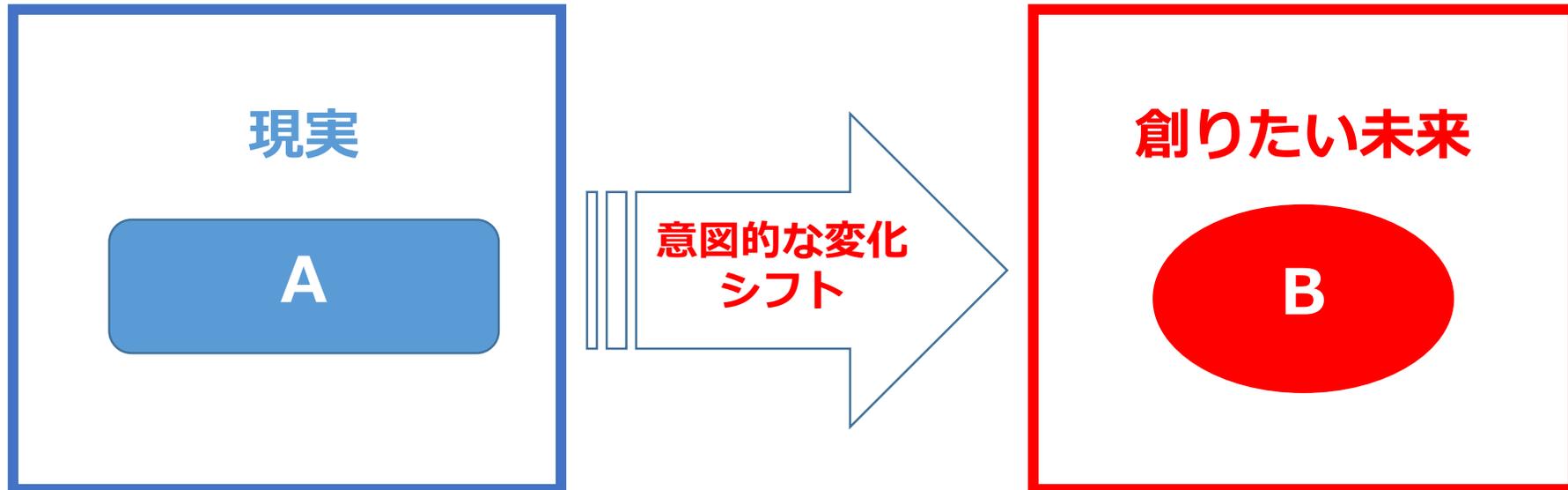
**イノベーションを、
組織として起こし続ける
組織能力（イノベーション経営力）が必須。**

**個人だけに依存しない。
想いを持つ個人が必須であるのは、自明。**

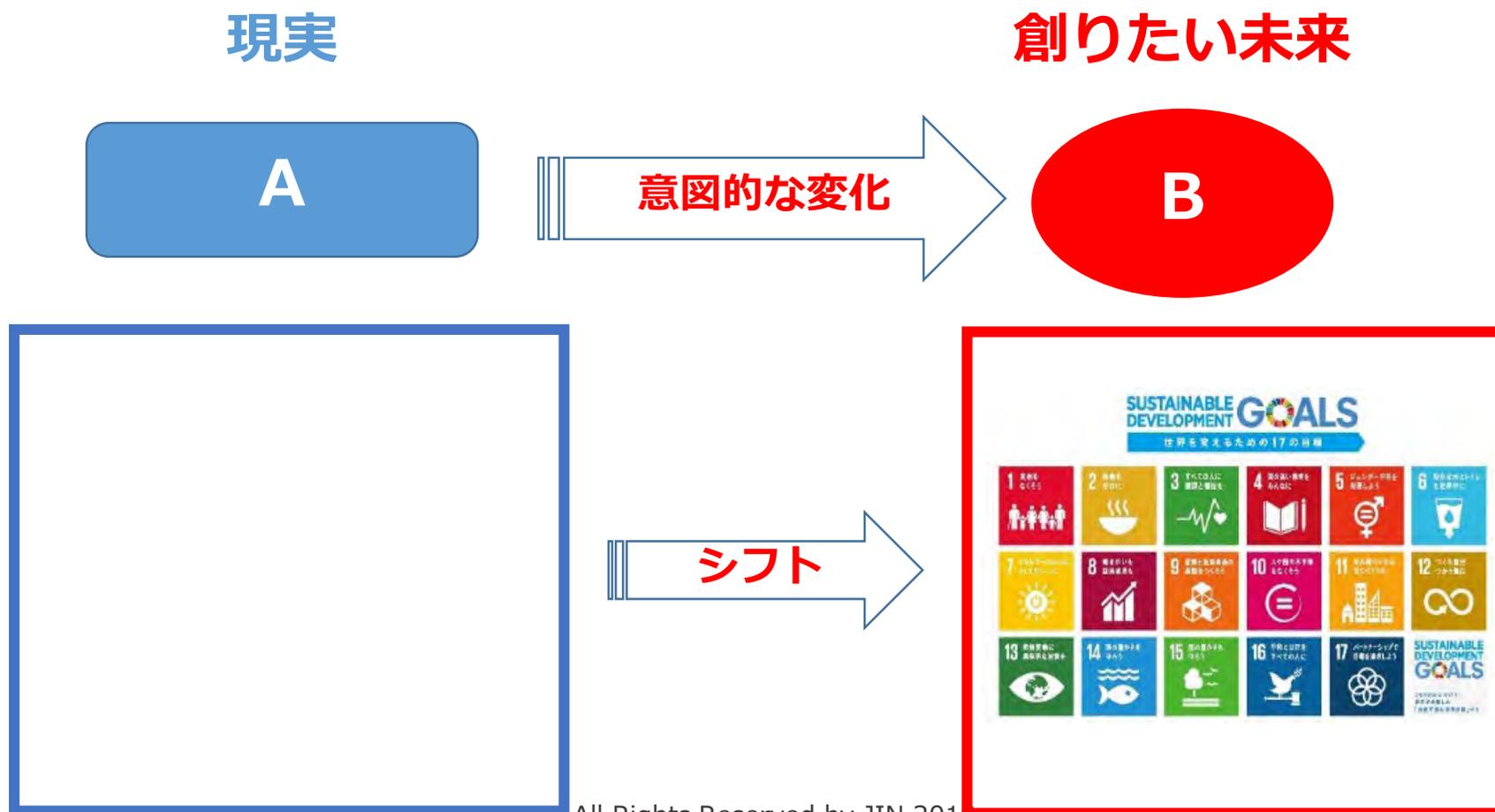
イノベーション・コンパス（羅針盤）のご紹介



オープン・イノベーションの本質は
「Aの経験値」から「Bの経験値へのシフト」
を**自社単独よりも、効果的に**行うこと



**Bの中身が分かっているならば、
手段を考えるだけで良いのです。
だからSDGsは使えます。SDGsはBの集合体です。**



SDGs: Sustainable **Development** Goals

2015年9月に国連本部にて193ヶ国の合意のもと採択された、
2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットからなる
「持続可能な**開発・発展・成長**目標」：人類の本質的な欲求のリスト

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



日本企業の**残念な勘違い**の例

- 狭義の「CSRと勘違い」
- 統合報告書などの「追加報告事項と勘違い」
- ゴールを「単独で考える勘違い」
- SDGs全体と「環境問題と勘違い」
- **自社事業の「コミュニケーションツールと勘違い」**

～タグ付けだけでは、SDGsの達成は不可能～

～**人間の本質的な欲求の達成を通じた事業づくりの視点が必須**～

単なるキャッチフレーズではなく、
ゴール、ターゲット、指標(KPI)
の三段構造
であるところに特徴があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



169
ターゲット

232
指標

単なるキャッチフレーズではなく

測定可能な目標であるところに

特徴があります。